7/3 [illegible]

マイナカード返納急増

全国52市区調査で318件

福井は3件

都道府県庁所在地と政令指定都市の計五十二市区を対象とした共同通信の調査で、マイナンバーカードの自主返納が五月以降、少なくとも計三百十八件あったことが二日分かった。四月は二十件程度。五月以降に個人情報の誤登録などのトラブルが続出し「情報漏えいが不安」「制度に不信感がある」などの理由で急増した。政府が制度への信頼を回復できなければ、さらに拡大する可能性がある。

＝関連❻面

五十二市区（東京は新宿区）に対して国外転居やカード破損などの理由ではなく、本人の希望に基づく自主返納数を把握しているかどうか尋ねた。集計していたのは二十九市で、五月以降の最新データを合計した結果、計三百十八件となった。最多は堺市の四十四件。福井市は三件だった。

四月の自主返納数を把握していた二十四市のうち福井を含む十五市はゼロで、残る九市の合計は二十一件だった。

五月以降に二十一件の返納があった金沢市は「返納届に『信用できない』『問題が多い』などの記載があった」と説明。「セキュリティーに不安がある」（福井市）「制度への不安」（那覇市）「危ないカードは持ちたくない」（山形市）などの声も寄せられていた。

カードの取得は任意で、返納届に名前や住所などを書いて自治体に出せば手放せる。岐阜市は「任意なので返納を翻意させるのは難しい」と指摘。福島市は「再交付には手数料千円が必要と説明しているが、それでも返すと言われたら仕方ない」とした。

マイナカードを巡っては五月以降、公金受取口座の誤登録や他人の年金情報閲覧、健康保険証の情報ひも付けミスなどが明らかになった。

マイナンバーカードを巡る主なトラブル

	「ほぼ全国民がカード取得」という政府目標達成と河野太郎デジタル相
	コンビニ交付サービスで他人の証明書を誤交付
	マイナ保険証で別人の医療情報を閲覧
	公金受取口座として、他人名義の口座を誤登録
	マイナポイントを別人に付与
	マイナポータルで、他人の年金情報を閲覧
	別人のカードを受け取り、マイナポイントを申請

※日付は政府の発表日